

2 工業用水道事業

(1) 経営基盤の強化

改革事項	公設民営化など浄水場の管理運営形態の抜本的見直し	行動目標	14	15	16	17	18
(行動計画) 柿木浄水場の管理運営については、水処理及び排水処理に関する運 転管理業務を一括委託するとともに、業務委託の範囲を拡大しなが ら平成18年度には浄水場全体を民間が運営する公設民営化を図る。		<柿木浄水場> ☆運転管理業務委託 一括化の検討 ☆公設民営化の検討 ・公設民営化の最適形 態の検討、決定 ・課題点の抽出と対応 方針策定	☆運転管理業務委託 一括化の実施 ・決定形態に対応する 民営化業務内容確定 ・業務運営マニュアル 策定	☆運転管理業務委託 一括化の実施 ・漏水等緊急時対応マ ニュアル策定 ・各種施設の台帳等の 整備	☆公設民営化の案議に 向けた総合的な準備 と試行	☆公設民営化の実施	☆公設民営化を実施
改革指標・目標数値 運転管理業務委託一括化・ 委託内容見直しによる委託費 H15～17 10%削減 改革効果(見込み) H15～17 Δ2.7百万円 H18 15%削減 (H13:11.98円/m ³ →H18:10.18円/m ³) ※ 薬品、動力費を除く、							

経営状況に見合った施設の更新と改良		各事業の緊急性と必要性の度合いに応じた事業進捗の調整を図るとともに、事業実施に当たっては一層のコスト縮減に努める。				
改革事項	行動目標	14	15	16	17	18
(行動計画) 1 上工水共用施設に係る管理負担金を見直すとともに、排水処理施設の更新について、PFIによる事業化を検討する。 2 柿木浄水場の高遠沈でん池施設更新2期工事について、本計画期間中は実施しない。 3 経済的かつ効果的な投資と費用の平準化に配慮し、「第5次業務設備整備計画」を策定する。 4 「公共工事コスト縮減対策」に関する埼玉県新行動計画に基づき、設備整備費のコスト縮減を一層促進する。	☆上工水共用施設に係る管理負担金(アロケ)の見直し検討(見直し事項及びアロケ手法の抽出、検討) ☆第5次業務設備整備計画策定検討 ☆設備改良工事のコスト縮減	☆管理負担金(アロケ)見直し決定・実施				
		☆第5次業務設備整備計画策定検討			☆第5次業務設備整備計画策定	☆第5次業務設備整備計画実施
		改革指標・目標数値 工水管理負担割合 1%以上削減 (例) 上工水共用施設修繕費 △ 5百万円 設備整備費のコスト縮減率 H14~18 5% △754百万円				
改革事項 PFI手法による施設の建設・改良 (行動計画) 1 大久保浄水場排水処理施設更新事業について、平成14年にPFI手法を導入するか選択する。 2 PFI手法の導入を選択した場合は、平成15年度にPFI事業者を募集し、平成16年度から事業を実施する。	☆PFI導入検討、可否決定(事業範囲特定、VFM確認) <導入可の場合> ・実施方針案作成	・実施方針策定及び公表 ・特定事業の評価・選定 ・民間業者の募集	・事業者の選定、交渉 ・契約交渉 ・事業者決定 ・協定等の締結 ・事業の実施			
改革指標・目標数値 (導入可の場合) 可能な限り高いVFM	建設コスト及び管理運営費の縮減 費用の平準化					